

原子力規制委員会が実施する ALPS処理水に係る海域モニタリング の結果について

令和6年9月12日 福島県モニタリング評価部会

原子力規制委員会が実施するモニタリングの結果（トリチウム）

- 原子力規制委員会は、測点を拡充の上、2022年4月より、近傍海域（毎月）及び沖合海域（3月毎）の計20測点で試料採取し、海水中トリチウムのモニタリングを実施。結果を順次公表。
- 他機関を含めても、トリチウム濃度は十分低い水準と確認されており、人や環境に影響は無い。

<近傍海域（～3km）>

<沖合海域（概ね30km～90km）>
 （～50km） (50km～)

採取時期等		放射性物質濃度 (Bq/L)
2022. 1Q	表層	0. 076～0. 21
2022. 2Q	表層	0. 071～0. 21
2022. 3Q	表層	0. 053～0. 14
2022. 4Q～ 放出前	表層	< 0. 037～0. 13
以下 放出後		
2023. 9	表層	< 0. 052～0. 097
2023. 10	表層	0. 078～1. 1
2023. 11	表層	0. 42～0. 63
2023. 12	表層	0. 071～0. 13
2024. 1	表層	< 0. 045～0. 077
2024. 2	表層	0. 066～0. 11
2024. 3	表層	0. 10～0. 82
2024. 4	表層	0. 073～0. 34

採取時期等		放射性物質濃度 (Bq/L)
2022. 1Q	表層	0. 042～0. 085
	底層	0. 082～0. 10
2022. 2Q	表層	0. 066～0. 096
	底層	0. 061～0. 080
2022. 3Q	表層	0. 053～0. 078
	底層	0. 057～0. 085
2022. 4Q ～放出前	表層	0. 041～0. 097
	底層	0. 028～0. 078
以下 放出後		
2023. 11	表層	0. 053～0. 073
	底層	0. 054～0. 074
2024. 1	表層	0. 050～0. 070
	底層	0. 046～0. 085
2024. 5	表層	0. 035～0. 058
	底層	0. 030～0. 11

採取時期等		放射性物質濃度 (Bq/L)
2022. 1Q	表層	0. 041～0. 078
2022. 2Q	表層	0. 067～0. 095
2022. 3Q	表層	0. 039～0. 093
2022. 4Q ～放出前	表層	0. 034～0. 087
以下 放出後		
2023. 11	表層	0. 038～0. 089
2024. 1	表層	0. 039～0. 073
2024. 5	表層	0. 039～0. 13

（ストロンチウム）

- 原子力規制委員会は、従前より、近傍海域（毎月）及び沖合海域（3月毎）の計14測点で試料採取し、海水中ストロンチウム90のモニタリングを実施。結果を順次公表。
- ALPS処理水の放出開始後においても、当該モニタリング結果について過去の傾向と異なる特別な変化はなかった。

<近傍海域（～3km）>
<沖合海域（概ね30km～90km）>

採取時期等		放射性物質濃度 (Bq/L)
2022. 4～ 放出前	表層	0. 00065～ 0. 0018
以下 放出後		
2023. 9	表層	0. 00073～ 0. 0012
2023. 10	表層	0. 00087～ 0. 0015
2023. 11	表層	0. 00078～ 0. 0021
2023. 12	表層	0. 00094～ 0. 0018
2024. 1	表層	0. 00097～ 0. 0012
2024. 2	表層	0. 00064～ 0. 00081
2024. 3	表層	0. 00070～ 0. 0011
2024. 4	表層	0. 00099～ 0. 0012
2024. 5	表層	0. 0011～ 0. 0019

（～50km）

採取時期等		放射性物質濃度 (Bq/L)
2022. 4～ 放出前	表層	0. 00054～ 0. 0012
以下 放出後		
2023. 11	表層	0. 00095～ 0. 0014
2024. 1	表層	0. 00073～ 0. 00093
2024. 5	表層	0. 00077～ 0. 0012

（50km～）

採取時期等		放射性物質濃度 (Bq/L)
2022. 4～放 出前	表層	0. 00055～ 0. 0015
以下 放出後		
2023. 11	表層	0. 00074～ 0. 0013
2024. 1	表層	0. 00072～ 0. 0013
2024. 5	表層	0. 00088～ 0. 0011

（海底土）

- 原子力規制委員会は、従前より、沖合海域（3月毎）の計32測点で試料採取し、海底土のセシウム等のモニタリングを実施。結果を順次公表。
- ALPS処理水の放出開始後においても、当該モニタリング結果について過去の傾向と異なる特別な変化はなかった。
※下表の値はセシウム137。他の対象核種は、セシウム134、ストロンチウム、プルトニウム、アメリカシウム及びキュリウム。

＜沖合海域（概ね30km～90km）＞

（～50km）

採取時期等	放射性物質濃度 (Bq/kg・乾土)
2022. 4～放出前	0. 60～87
以下 放出後	
2023. 11	1. 3～60
2024. 1	2. 4～64
2024. 5	1. 5～35

（50km～）

採取時期等	放射性物質濃度 (Bq/kg・乾土)
2022. 4～放出前	<0. 30～110
以下 放出後	
2023. 11	< 0. 31～53
2024. 1	< 0. 31～340
2024. 5	0. 40～53